

平成29年度 中小企業振興条例関連施策の実施状況 (概要版)

平成30年6月
秋田県産業労働部



秋田県中小企業応援キャラクター
「がんばっけさん」

目次

1 秋田県中小企業振興条例の概要	• • • • •	3
2 条例等の普及・啓発	• • • • •	4
3 主な条例関連施策の実施状況	• • • • •	5
(1) 経営基盤の強化	• • • • •	5
(2) 新たな市場の開拓等	• • • • •	6
(3) 企業競争力の強化	• • • • •	7
(4) 新たな事業の創出	• • • • •	8
(5) 地域の特性に応じた事業活動の促進	• • • • •	9
(6) 人材の育成及び確保	• • • • •	10
4 支援事業を活用した企業の実事例	• • • • •	11

1 秋田県中小企業振興条例（平成26年4月1日施行）の概要

条例の基本理念

中小企業の役割と重要性の認識

県内企業の99.9%を占める中小企業は、本県の経済や雇用を支えるほか、地域社会の担い手としても不可欠の存在であることを認識。

中小企業の自主的な取組をオール秋田で支援

- 中小企業者は自主的に経営の改善・向上に努める。
- 中小企業の意欲的で創造的な取組を県全体で支えていく。

本県経済の持続的発展と県民生活の向上

条例に基づく6つの基本的施策

【基本的施策2】

☆新たな市場の開拓等

- 国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援
- 県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大
- 交流の拡大による事業展開への支援

【基本的施策3】

☆企業競争力の強化

- 生産性の向上支援
- 技術力の強化、製品・商品の高付加価値化への支援
- 設備投資の促進
- 企業間の連携の促進
- 産学官連携の強化

(中小企業全体にかかる共通施策)

【基本的施策1】

☆経営基盤の強化

- 相談機能の充実
- 資金供給の円滑化
- 事業承継の円滑化

【基本的施策4】

☆新たな事業の創出

- 事業の多角化・事業の転換への支援
- 創業の促進

【基本的施策6】

☆人材の育成及び確保

- 学校教育における職業及び勤労に関する教育の充実
- 職業能力の開発・向上への支援
- 雇用に関する情報提供
- 雇用環境の整備の促進
- 女性と高齢者の能力の活用の促進

【基本的施策5】

☆地域の特性に応じた事業活動の促進

- 地域資源を活用した商品の開発支援
- 技術の継承への支援
- 商店街の活性化支援
- 農商工連携等の促進

中小企業の自立・創造に向けた取組を徹底支援

2 条例等の普及・啓発

(1)各種媒体の活用や個別訪問によるPR

○企業支援コーディネーター（5名）を商工団体に配置し、個別訪問により支援情報等を提供。

【企業支援コーディネーターによる企業訪問件数：4,216件（H28：3,778件）】

○県の支援施策を活用し、成果を上げている中小企業等の取組を取りまとめた「支援施策活用事例集」を作成し、商工団体等を通じて各中小企業・小規模事業者配布したほか、ホームページへ掲載し、PRを実施。

○指針の見直しに向けた中小企業者等との地域勉強会を全地域振興局管内で開催し、施策に関する情報提供と意見交換を実施。

【地域勉強会開催19回・参加企業等296人】



地域勉強会（北秋田市）

(2)中小企業月間でのPR

○7月上旬からの2カ月間を「中小企業月間」と定め、「輝け！企業のソコチカラ」をテーマに、秋田市、由利本荘市で普及・啓発イベント6件を開催。

【中小企業月間普及啓発イベント参加・来場者数：9,530人】



由利地域中小企業支援フォーラム
（由利本荘市）



中小企業応援フェスタ（秋田市）



2017中小企業月間ポスター

3 主な条例関連施策の実施状況（その1）

(1) 経営基盤の強化

【専門家派遣】（支援事業名：商工団体組織活動強化事業）

- 中小企業支援機関（商工団体、(公財)あきた企業活性化センター等）と連携した専門家派遣を実施し、中小企業が抱える課題の解決や経営支援等を実施。

【専門家派遣実績 1,971件(H28:1,960件、H27:2,228件)】

※ミラサポ事業・信用保証協会実施分含む。

【技術支援】（支援事業名：技術支援加速化事業）

- 産業技術センターの研究員が企業を訪問し、企業が抱える課題や強みを見だし、課題解決や商品開発につながる技術支援を実施。

【共同研究・受託研究契約件数：69件(H28:66件、H27:72件)】

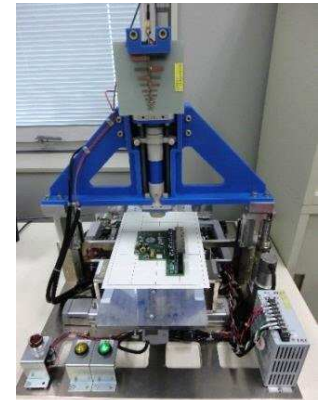
【事業承継】（支援事業名：事業承継推進事業）

- 秋田商工会議所・県商工会連合会に事業承継相談推進員を配置(5人)し、事業承継案件の掘り起こしを行うとともに、事業引継ぎ支援センターと連携したきめ細かな相談対応を実施。
- 後継者人材バンクへの支援を通じて後継者不在企業と起業家とのマッチングを促進。
- 後継者育成塾を県内3地区で開催し、事業承継の円滑化に向けた支援を実施。

【事業承継相談推進員の相談受付件数：174件（計画数：240件）
(H28:255件、H27:252件)】

【後継者人材バンク登録状況：後継希望者144人、後継者不在企業79社】

【後継者育成塾受講者数(3地区開催)：秋田市18人、大館市5人、
横手市9人(計32人)(計画数：60人)】



産業技術センターの技術支援で共同開発した「EMCスキャナ」
〔株)三栄機械(由利本荘市)
・(株)ケーエンジニアリング(秋田市)〕



後継者育成塾(秋田市)でのグループワーク

3 主な条例関連施策の実施状況（その2）

(2) 新たな市場の開拓等

【海外への販路開拓】（支援事業名：県内企業海外展開支援事業）

○海外経済交流の促進により新市場への進出機会を創出するほか、国際見本市等への出展や市場調査、外国貿易会社等と連携した販路拡大を支援。

【海外展示会等への出展や現地の市場調査等への支援：

採択件数 16件】

【外国貿易会社と連携した海外展開の支援：

採択件数 1件（ロシア極東）】



電子関係の大規模見本市「タイトロニクス2017」(台湾)の秋田県ブース(4社出展)

【県産品の販路開拓】（支援事業名：高品質販路開拓事業）

○民間事業者等との連携により、首都圏を主体に販売チャネルを掘り起こし、県産品の販路を開拓。

【駅ナカショップ展開事業者と連携した東京でのカジュアルな手土産商品の開発支援：3社（H28：3社）】

- ・『東京おしょうゆごま餅』（株）塚本商店
- ・『東京しょうゆかりんと饅頭』（有）佐藤商事
- ・『東京おしょうゆ麦こがし』（パティスリー白川）



「東京おしょうゆみやげ」共通ロゴ



「グルメ&ダイニングスタイルショー春2018」(東京都)の秋田県ブース(6社出展)

3 主な条例関連施策の実施状況（その3）

(3) 企業競争力の強化

【がんばる中小企業の支援】（支援事業名：がんばる中小企業応援事業）

- 新製品や新サービスの開発・生産等の意欲的な取組を行う企業に対して、機械器具の導入や人材育成経費等をハード・ソフト両面から支援。

【採択件数：37件(製造業25件 非製造業12件)

（H28：34件、H27：41件）】

【成長分野への事業展開支援】（支援事業名：情報関連産業競争力強化事業）

- 情報関連事業者の競争力強化を図るため、新たなサービスや商品の開発、認証取得の取組、高度情報関連技術者の養成を支援。

【情報関連事業者の自社商品開発支援（開発費補助）：4社（H28：5社）】

【情報関連認証（プライバシーマーク）の取得支援：2社（H28：3社）】

【プロジェクトマネージャ養成講座（5日間開催）：参加者23人】

【データ分析者養成研修（アイデアソン・ハッカソン）：参加者6人（3日間開催）】



総食研と共同開発したサプリメント「潤彩小町」のECサイトを開設
【(株)サノ(秋田市)】



プロジェクトマネージャ養成講座

3 主な条例関連施策の実施状況（その4）

(4) 新たな事業の創出

【起業の促進】（支援事業名：あきた起業促進事業）

○県内での起業を促進するため、商工団体等と協力し、起業家意識の醸成から起業後のフォローアップまで、切れ目のない支援を実施。

【大学生等を対象とした起業家人材育成プログラム(2年間)の実施：

参加者 2期生11人、1期生15人】

【起業スキル習得塾の開催：県内10回、県外1回(東京) 参加者146人】

【初期投資等の支援(起業支援補助金)新規採択：

通常枠6件 Aターン・移住枠7件】



大学生等の起業家人材育成プログラム「おこめつ部」

【新エネルギー関連産業の振興】

（支援事業名：新エネルギー産業創出・育成事業）

○県内における新エネルギー関連産業の拡大のため、県内企業の新エネルギー分野への参入や人材育成等を支援。

【風力発電等メンテナンス技術者養成補助金：採択件数 2社

（H28：1社、H27：2社、H26：2社）】



風の松原風力発電所(能代市)

3 主な条例関連施策の実施状況（その5）

(5) 地域の特性に応じた事業活動の促進

[商業・サービス業の活性化]

（支援事業名：商業活性化・まちづくり支援事業）

- 商店街を核とする中心市街地の賑わい創出や魅力向上の取組を支援するほか、先駆的な活動をしている事業者のネットワーク化と相互交流等を促進。

【商店街等で実施する賑わい創出イベント等への支援：9市27事業】

[経営革新]（支援事業名：あきた企業応援ファンド）

- 地域資源を活用した新商品開発や販路開拓等の経営革新の取組を支援。

【採択件数：18件（H28：27件、H27：35件、H26：33件）】

[地域資源等を活用した地域産業の振興]

（支援事業名：伝統的工芸品等振興事業）

- 県、市町村及び産地が一体となって、地域の実情に応じた振興施策を実施。

【採択件数：15件（H28：14件、H27：11件、H26：11件）】



ファンド事業で開発した「断熱式玄関ドア」
「JAPAN SHOP 2017」(東京都)出展
[株式会社コシヤマ(能代市)]



湯沢産うるしを用いて新たに開発した
「made in yuzawa」フラッグシップモデル
のテーブル[寿次郎(湯沢市)]

3 主な条例関連施策の実施状況（その6）

(6) 人材の育成及び確保

【学生等と企業とのマッチング】（支援事業名：秋田を支える人材確保支援事業）

○学生・Aターン希望者と企業とのマッチング機会を提供する就職面接会等を開催。

【新規大卒者等を対象とした就職面接会等の開催】

・ 合同就職説明会（4月、3月）

：参加企業延べ199社、参加者数延べ152人（東京、仙台）

・ 合同就職面接会（6月、8月）

：参加企業延べ246社、参加者数延べ277人（秋田）

【Aターンフェア（8月、12月、2月）

：参加企業延べ153社、参加者数延べ625人（東京、秋田）】

【Aターン就職者数：1,128人

（H28：952人、H27：1,080人、H26：1,061人）】



Aターンフェア(東京都)

【産業人材の育成】（支援事業名：食品産業人材育成事業）

○食に関するマーケティングノウハウの習得や商品戦略の構築を実践する人材育成講座等により、県内食品産業の振興を担う人材を育成。

【秋田絶品マーケティング塾の開催：全4回 延べ7日間開講】

【塾修了者：18人（H28：12人、H27：15人、H26：15人）】



秋田絶品マーケティング塾

4 支援事業を活用した企業の取組事例（その1）

(1) かみこあに観光物産(株)（上小阿仁村）小売業

【活用事業：専門家派遣事業】

- 活用のきっかけ** → 自社商品のコンテスト受賞を契機に、県商工連と上小阿仁村商工会の経営指導員の提案により専門家派遣を活用。
- ポイント** → 大型商談会への出展を想定し、事前にターゲット層を明確にしておくことや、効果的なブースレイアウトに関するノウハウを習得。
- 取組の成果** → 実際の商談会では多数の引き合いがあり、高級商品として首都圏を中心に販路拡大を実現。
- 今後の展開** → 自社事業・商品を見つめ直す機会となったことから、継続的な取引や新商品開発に取り組んでいく。



コンフィチュール・ほおずき



スーパーマーケットトレードショー（東京都）に出展

(2) 企業組合東由利特産物振興会（由利本荘市）食料品製造業

【活用事業：専門家派遣事業】

- 活用のきっかけ** → 人口減少等により利益確保が困難となる中、県中小企業団体中央会の経営指導員の提案により専門家派遣を活用。
- ポイント** → 損益分岐点売上高を算出し、月ごとの売上目標を設定したPDCAによる経営管理の導入や、自作POPの売り場配置による商品価値の向上に取り組んだ。
- 取組の成果** → 以前は売上の減少が続いていたが、前年の売上高を超える月が多くなり、売上目標に近い実績で推移。経費削減にも取り組んでおり、黒字決算となる見込み。
- 今後の展開** → PDCAサイクルを継続し、組織の経営力向上を図るほか、看板商品の開発による利益率や生産性の向上に取り組む。



専門家による指導の様子



自分たちで作成したPOP

4 支援事業を活用した企業の取組事例（その2）

(3) (株)つじや（大仙市）和菓子製造販売業

【活用事業：がんばる中小企業応援事業】

- 活用のきっかけ** → 150年変わらぬ製法と味を守る「三杯もち」。保存料を使わず県外や海外へ販売できるように賞味期限を延ばしたい。
- ポイント** → 高鮮度維持プロトン凍結機を導入し、細胞膜破壊を防ぐ急速冷凍により鮮度維持と食味の向上を実現。併せて、三杯もち専用の自動包装機と包装紙の開発により生産性が向上。
- 取組の成果** → 冷凍保存での作り置きが可能となり、計画的な生産によって生産量が増加しても従業員の時間外労働の短縮につながった。
- 今後の展開** → 大型の受注も対応可能となったため、全国や海外への販路拡大を図り、秋田の食文化の認知度を高めたい。



プロトン凍結機と解凍機



リニューアルした「三杯もち」

(4) 藤島林産(株)（北秋田市）木製品製造業（無垢フローリング）

【活用事業：企業生産性向上支援事業】

- 活用のきっかけ** → 大口工事の受注が減少する一方、顧客からの特注オーダーが増加したため、コスト削減と短納期対応を図りたい。
- ポイント** → 県産業振興アドバイザーによる指導の下、仕事量や種類を分析して平準化し、出荷に合わせた生産計画を作成。
- 取組の成果** → 不良低減や停滞時間削減、レイアウト変更により、生産リードタイムが57%短縮した。また、長期滞留在庫の処分により約2,000㎡の有効スペースが生まれた。
- 今後の展開** → 改善の結果、多様な注文への対応力が付いたため、新たな受注獲得を目指す。



産業振興アドバイザーによる改善指導の様子

4 支援事業を活用した企業の取組事例（その3）

(5) (株)蔵吉フーズ（秋田市） 食品加工・小売業

【活用事業：事業承継推進事業】

- 活用のきっかけ → 顧客の要望へのきめ細やかな対応を強みに、病院等への販売を行ってきたが、後継者がおらず、第三者に承継したい。
- ポイント → 事業承継相談推進員と商工会経営指導員の帯同訪問により課題やニーズを抽出。商工会が地域内の鮮魚店を紹介。
- 取組の成果 → 事業引継ぎ支援センターが専門家派遣を行い、公認会計士による専門サポート等により、円滑な事業承継が実現。地域の産業が守られ、雇用の維持につながった。
- 今後の展開 → 顧客重視の経営理念やビジョンを守り、営業拡大を図る。



後継者との調印式の様子

(6) 一般社団法人平鹿建設業協会（横手市）

【活用事業：建設産業女性活躍ネットワーク事業】

- 活用のきっかけ → 女性から敬遠されるイメージを払拭して、女性が活躍する建設産業への転換を目指したい。
- ポイント → 建設産業における女性の活躍をPRするため、女性ネットワーク組織「SAKURA（さくら）」を設立。
- 取組の成果 → 全国産業教育フェア「さんフェア秋田」に出展し、500名を超える女子生徒等が来訪。他の2地域の建設業協会の女性と合同で先進地視察研修を実施。
- 今後の展開 → ネットワークを全県規模に拡大し、PR効果を高める。



平鹿建設業協会女性部
イメージキャラクター
「さくらちゃん」



「さんフェア秋田2017」出展ブース